滝沢市立滝沢第二中学校　　令和７年５月２２日(木)

燃える滝二の創造

No. 09
文責：校長　岡田

■滝二中体育祭■５／１７(土)

体育祭スローガン　～　一　翔　大　夢　（It’s show time）～

「一」は生徒会重要行事の第一歩、「大夢」に各組団の大きな夢を乗せて

曇り空でちょっと肌寒さを感じる中、開幕した本校体育祭。生徒たちは、スタートからエンジン全開で、準備や練習の成果をいかんなく発揮してくれました。一生懸命、精一杯、全力を尽くして競技や演技に取り組む生徒の姿は、頼もしく、誇らしく、そしてちょっと羨ましく思うほど、輝いていました。途中、冷たい雨が降り出しましたが、生徒の熱気は冷めることなく、まさに「完全燃焼」。一つの塵も、後悔も残すことなく、この大きな行事をやり切ってくれました。最後は勝敗がつきましたが、閉祭式で各組団長は口をそろえて、相手や仲間を称えていました。４つの組団が死力を尽くして戦い、でもホイッスルが鳴ればノーサイド。清々しい、青春の１ページでした。

▲組団旗賞：緑組団

＊PTA 保体部の皆様：裏方での駐車場係、おかげさまで今年はトラブルもクレームありませんでした。
大変ありがとうございました。

■マルちゃん杯東北少年柔道大会■５／１８(日)　優　勝　～岩手県勢初制覇～

滝二中柔道部(団体)が快挙を達成しました。大会前の 5/16(金)IBC テレビで特集報道されるほど、優勝候補の筆頭として注目されていた本校柔道部ですが、大会前の練習でエース３年櫻くんが負傷。大会への出場を断念せざるを得なくなってしまいました。

しかし蓋を開けてみれば、決勝までの６戦すべて完封勝ち。選手層の厚さと圧倒的な個の力を見せてくれました。狙って取りにいった見事な優勝ですが、実の中身はエース不在をカバーする緻密な戦略。道場のホワイトボードには、対戦相手の勝ち上がりのすべてを想定し、一人一人の戦い方がびっしりメモされていました。エースの復活を祈りつつ、次のステージに向けて準備再開です。